

観望会・1月

平成28年12月25日発行
発行 龍ヶ崎市回想法センター
龍ヶ崎市平台5-9-7
電話・FAX 0297-65-4443
e-mail pia-kaiso@etude.ocn.ne.jp
h p www.piakaiso.sakura.ne.jp

年の初めに思うこと

年の初めに思うこと

奈良時代の古文書に「とかく今の若者達は…」と、若者の立ち振る舞いを苦々しく思うお年寄りの様子を記したものが出てきたと。大正生まれの母も、校門の前に先生が物差しを持って立っていて、登校する生徒の服装をチェックしていたと。人の感情は、いつの時代も同じことを繰り返しているようです。しかし、物の進化は、言葉を取り上げてしまうように感じています。特に洗濯は外の井戸でタライと洗濯板で洗濯していたものが、洗濯機が登場で大きく変わりました。今では洗濯から乾燥までを、ボタン一つ押すだけで出来る洗濯機もあります。

便利になればなるほど、人間本来の豊かなコミュニケーションが失われるのではと感じています。大変な洗濯も「井戸端会議」と言われていたように、愚痴をこぼし、ストレスを発散出来る地域の社交場になっていたからこそ、心は豊かさが満たされていたのではないかと。心の豊かさを失わない為にも、人と人のつながりを大事にしてゆきたいと年の初めに思いました。

平成の次はどんな時代？

昭和は、高度成長に伴い、郊外にはマンモス団地が立ち並び、ちゃぶ台から椅子の生活に大きく生活様式が変わりました。都会は建設ラッシュに沸き、都内の河川は高速道路に生まれ変わり、車社会が到来。工場の排気、車の排気ガス等で大気汚染が深刻化になり公害問題になりました。

バブル崩壊、そして人口減少、超高齢者社会の到来に「昭和の前提」を支えてきた社会保障に有効な手が打てず、若い世代に負担がのしかかってきて昭和から平成に変わりました。平成に入り、人口減少により廃校になった校舎が高齢者施設に様変わりしたり、超高齢化・格差・非正規雇用など働く若者にも、老後を穏やかに暮らしたい高齢者にも生きづらい社会になってきました。

平成の次は、どんな年になるのでしょうか。新しい年は、数年もたてば平成という時代は終わります。昭和、平成を支えてきた世代にとっては、老後は、穏やかに暮らせる社会を望んでいます。



1月の予定



1月11日 (木)	うたごえ広場	2時～4時	ショッピングセンターリブラ1階
1月17日 (水)	笑顔屋	10時30分～12時	ショッピングセンターリブラ1階
1月20日 (土)	川柳カフェ	10時30分～12時	ショッピングセンターリブラ1階
1月23日 (火)	笑顔屋	10時30分～12時	ショッピングセンターリブラ1階
1月28日 (月)	らんカフェ	10時30分～12時	ショッピングセンターリブラ1階

問い合わせ先 龍ヶ崎市回想法センター 080-4209-5708 担当 赤嶺